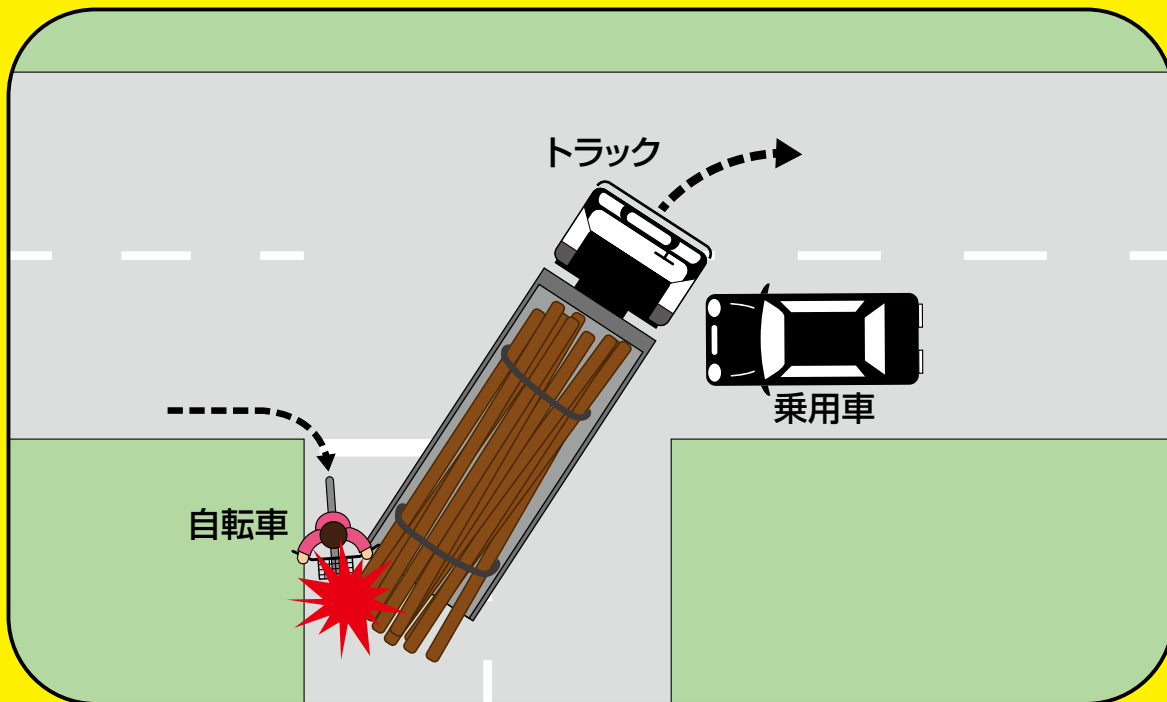


リアオーバーハングに注意! ～後部から出ている積荷が自転車に当たる～



どのような場所か…

信号機による交通整理が行われていない、見通しの良い三叉路。

どのような事故か…

トラックが右折しようとしたが、交差点ギリギリで停止した乗用車に気を取られた。

トラックは内輪差を気にしてゆっくりと右折していたが、オーバーハングにより、荷台から突き出た積荷が左より右折してきた自転車に衝突した。

原因は……

トラック後部から突き出た積荷のふくらみ（リアオーバーハング）を想定していなかった事と、左後方への注意不足。

この事故を防ぐためには…

トラックの後輪から後ろは右左折時に弧を描きます。

更に積荷が後ろに突き出ている場合は、その弧が大きくなります。その状態をリアオーバーハング（オーバーハング）と呼びます。

荷台からはみ出して積載できる長さは、車体全長の10分の1までですが、大型トラックの場合は1m弱になる場合があります。

内輪差に気をつけると同時に、大きくふくらむリアオーバーハングにも気を付けて下さい。



《事故防止上の注意点》

- 確認は全ての方向へ行う。
- 状況は刻々と変化しているので、周囲の状況を常に確認する。
- リアオーバーハングや内輪差は、一般通行者には未知の領域。プロドライバーの知識でしか事故は防げない。



YONKOKYO
事故事例ニュース

第295号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

右左折は縮む膨らむ気をつけて